



各委員会に付託された議案等について議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

総務文教常任委員会

野崎久雄 委員長

はしご車では10階までの
消火活動を想定

【議第8号】

三条市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

今回の改正により、三条市の放課後児童支援員は具体的にどういった影響を受けるか。

新潟県が実施する認定資格研修しか受講することができなかったが、この改正により新潟市も研修を実施することができるようになり、新潟市が市外の職員も受講の対象とすることを定めていただければ、新潟県および新潟市が開催する両方の研修を受けることができ、研修の受講機会が増える。

【議第19号】

動産の取得について

このはしご車の出動を想定している現場は、三条市内にどれくらいあるのか。

三条市内には4階建ての高層建築物が183棟あり、これらの火災に伴い出動することを想定している。

はしご車で届かない所は、どのように消火活動するのか。

はしご車では10階までの消火活動を想定しており、11階以上の火災に

ついては、災害に強い非常用エレベーターが設置されており、それにより消防隊が進入して、下からの連結送水管で放水する活動を想定している。

【報第1号】
専決処分報告について(控訴の提起について)

【報第4号】

専決処分報告について(平成30年度三条市一般会計補正予算)

小中一貫教育の名目による1500人の小中一体校について、できたときから学校運営に問題が生じるのではないかと不安な懸念が出されていたが、プールの事故もその中の一つで、無理な使い方の中で起きたことだと思う。統廃合を強行したところに弊害があるのではないかと。学校の統廃合や学校の大規模化のことと今回のプールの不具合は関係がない。

裁判を続けることが三条市の教育を良くすることにどれだけ意義があるのか。

三条市の財産を守るという意味で必要なことと思っており、三条市の教育に影響を与えるものとは思っていない。

スポーツ協会や文化団体協会などの方々がこの三条まちづくり会社の設立にどのように関わっているのか。

それぞれの団体の方が社員や役員などとして入っており、各種事業において連携しながら運営していく方針である。

【議第18号】

スポーツ・文化・交流複合施設アリーナ棟建設建築本體工事請負契約の一部変更について

柔道畳の規格を全日本柔道連盟公認規格から国際柔道連盟公認規格に変更した理由は何か。

東京2020オリンピック・パラリンピックで、コンゴ共和国のホストタウンとなることから柔道女子の事前合宿に対応するため、市としても国際的な利用に対応できることから規格を変更した。

これから市で行われる柔道大会は国際規格で行うのか。

国際規格の畳を敷き詰めた中で工夫をして、その大会の基準で試合を行えるようにする。

国際柔道連盟公認規格に変更すると面積はどのくらい増えるのか。また、畳のサイズを大きくしたため、観客席が狭くなると思われるが、影響はないのか。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



【議第11号】
三条市体育文化会館の指定管理者の指定について

指定管理者の応募は何件あったのか。

現地見学会には8団体が参加したが、結果的には一般社団法人三条まちづくり会社1件の応募であった。1件だけの応募だと、公平な競争原理が働かないのではないか、そう

市民福祉常任委員会

小林 誠 委員長

体育文化会館の柔道畳は
国際柔道連盟公認規格に

【議第11号】

三条市体育文化会館の指定管理者の指定について

現地見学会には8団体が参加したが、結果的には一般社団法人三条まちづくり会社1件の応募であった。1件だけの応募だと、公平な競争原理が働かないのではないか、そう

経済建設常任委員会

山田富義 委員長

多面的機能支払交付金
栄地域2組織を支援

【議第20号】

令和元年度三条市一般会計補正予算

多面的機能支払交付金について、どういった内容で、地区別にどのような状況でやっているのか。

現在市内では、6組織がそれぞれ農地維持支払の取り組みと資源向上の要望活動を行っている。そのうち三条広域協定、栄広域協定、下田広域協定の3組織が資源向上の長寿命化対策に取り組んでいる。

今回の補正予算に組まれたのは栄地域だけだが、三条地域、下田地域の取り組みはないのか。

その他の組織に関しては、今年度加算措置の取り組みを行わないとのこと、今回の補正の対象外となっているもの。

観光資源開発事業の事業内容について、新たな地域農産物の発掘とあるが、どんな農産物を把握されているのか。

下田のウコンやコクワなど、お馴染みになっているもの他にも特産物になり得るものを調査している段階である。

債務負担行為補正について、借入金利息の額が出ているが、市の指定の金融機関などと協議をして出したのではないのか。

体制を整えてもらいたい。 どういう状況であったかということとをきちんと説明できるようにしてまいります。



付託された議案のうち、議第13号から議第17号、議第20号、報第1号および報第4号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

【報第5号】
専決処分報告について(平成30年度三条市一般会計補正予算)

温泉保養交流施設等整備基金積立金について、露天風呂の改修などがあつたと思うが、それによって集客力がアップしたなど、何か良い方向に向かっているのか。

30年度の入込客数については、26年度に比べると2万人ほど落ちている状況であるが、29年度に比べると少し向上している。SNSでの発信や、令和に変わった時点でのイベントをマスコミに取り上げてもらったことにより少し集客が上がってきた。

これからの増加していくように努力をしていきたい。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

